

でん粉の価格調整業務実績について (令和5でん粉年度)

特産調整部、特産業務部

はじめに

当機構では「砂糖及びでん粉の価格調整に関する法律」(昭和40年法律第109号)に基づき、コーンスターチ用輸入とうもろこしおよび輸入でん粉から調整金を徴収し、それを財源として国内のでん粉原料用かんしょ生産者やいもでん粉製造事業者に支援を行うことで内外価格差を調整し、国内のでん粉の安定的な供給の確保を図っている。

本稿では、令和5でん粉年度(令和5年10月1日~令和6年9月30日。以下「5SY」という)におけるでん粉の価格調整業務実績について取りまとめたので報告する。

1 でん粉の価格調整業務における収支

(1) 収支

5SYの調整金収支は、1億円の赤字(前年度は6億円の赤字)が見込まれており、期末残高はマイナス2億円(4SY期末: マイナス1億円)となる見込みである(表1、図1)。

調整金の期末残高は、令和2SYまでは20億~30億円程度で推移していたが、ここ数年、コロナ禍に

よる需要減や穀物相場の高騰などによる単年度収支の赤字が続いた結果、2年連続で期末残高はマイナスとなる見込みである。

(2) 収入

5SYの収入額は、需要量は酒税法改正に伴う発泡酒需要の減少や製紙向け需要の減少によって減少したものの、トウモロコシ相場が下落したことによる調整金単価の上昇を受け、調整金収入は前年度比3億円増となる88億円となった。

(3) 支出

5SYの支出額のうち、ばれいしょでん粉の交付金額は前年並みの17億円であった。かんしょでん粉およびでん粉原料用かんしょは、他用途向けとの原料の競合によりでん粉への仕向け量が減少したこともあり、それぞれ4億円および11億円に減少した。でん粉原料用ばれいしょへの支援として国の経営所得安定対策の財源に充てるため支出する国庫納付金は、調整金収入の増加やかんしょの減産によりばれいしょの比率が増加したことに伴う納付率の上昇により、前年度比5億円増の57億円と見込む。これらの結果、支出合計は同2億円減となる89億円となる見込みである。

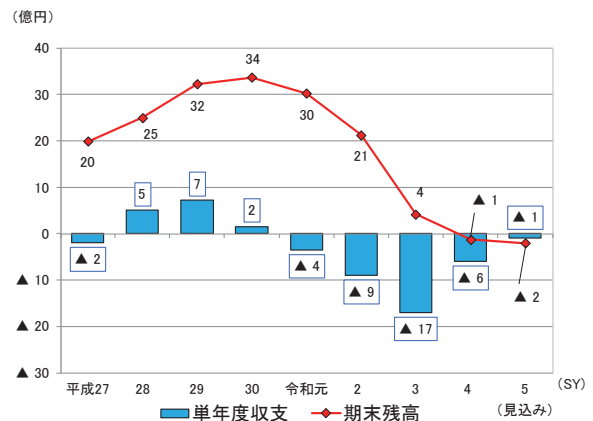
表1 5SYの収支前年比較

(単位：億円)

	令和3SY	4SY	5SY (見込み)	対4SY 増減
収入	72	85	88	3
支出	89	91	89	▲2
ばれいしょでん粉	19	18	17	▲1
かんしょでん粉	9	6	4	▲2
ばれいしょ (国庫納付)	41	52	57	5
かんしょ	19	15	11	▲4
単年度収支	▲17	▲6	▲1	5

注1：ラウンドの関係で合計と内訳が一致しない場合がある。
 注2：ばれいしょ(国庫納付)のみ確定前のため見込みを記載。最終確定は令和7年2月頃の見込み。

図1 でん粉勘定の調整金収支の推移



注：ラウンドの関係で単年度収支と期末残高が一致しない場合がある。

2 調整金徴収業務

(1) 5SYの指標価格等

5SYを含む直近3でん粉年度の指標価格等は、表2の通り。

(2) でん粉の需要と供給

令和6年9月に農林水産省が公表したでん粉の需給見通し(以下「需給見通し」という)によると、5SYのでん粉の需給の見込みは、表3、4の通り(詳細は、本誌2024年11月号「でん粉の国内需給」を参照)。

表2 直近3でん粉年度の指標価格等

SY	令和3	4	5
でん粉調整基準価格(円/トン)	165,960	175,760	179,340
前年比(円)	▲10	+9,800	+3,580
指定でん粉等調整率(%)	4.483	5.217	4.705
前年比(ポイント)	+0.310	+0.734	▲0.512

注1：令和3年9月30日農林水産省告示第1637号、令和4年9月30日農林水産省告示第1494号および令和5年9月29日農林水産省告示第1222号によって告示された基準価格。
 注2：でん粉調整基準価格とは、輸入でん粉等と国内産いもでん粉との価格調整の基準となる額。
 注3：指定でん粉等調整率とは、輸入でん粉等の輸入者から徴収する調整金の負担水準を定める率。

表3 でん粉の需給見通し

(単位：千トン)

	令和3 でん粉年度 (実績)	令和4でん粉年度(実績)			令和5でん粉年度(見込み)		
		10-3月	4-9月	計	10-3月	4-9月	計
需要	糖化製品	1,612	784	880	1,664	761	1,653
	化工でん粉	269	127	131	258	117	234
	その他(製紙用、ビール用、片栗粉など)	521	263	270	533	245	523
	合計	2,402			2,455		2,410
供給	前年度繰り越し	40			21		8
	国産いもでん粉(生産量)	171	170	-	170	162	162
	かんしょでん粉	21	15	-	15	11	11
	ばれいしょでん粉	150	155	-	155	150	150
	調整金徴収対象	2,052	1,006	1,110	2,116	964	2,083
	コーンスターチ						
	輸入でん粉(糖化製品、化工でん粉用)	134	61	71	132	66	135
	輸入でん粉(その他用)	11	6	4	10	6	14
小麦でん粉	16	7	7	14	7	14	
合計	2,423			2,463		2,417	
次年度繰り越し	21			8		6	

資料：農林水産省「でん粉の需給見通しについて」
 注：ラウンドの関係で合計と内訳が一致しない場合がある。

表4 でん粉需給の推移

でん粉 年 度	需要								でん粉 年 度	供給					
	需要量計	糖化製品 (異性化糖・ 水あめ等)	化 工 でん粉	その他	繊維・製紙 段ボール	ビール	畜水産 練製品	その他		供給量計	かんしょ でん粉	ばれいしょ でん粉	コーン スターチ	輸 入 でん粉	小 麦 でん粉
平成25	2,637	1,792	312	533	179	99	18	237	平成25	2,637	39	175	2,266	140	17
26	2,568	1,721	324	523	182	98	17	226	26	2,568	39	186	2,190	136	18
27	2,658	1,754	336	568	190	98	17	263	27	2,658	36	197	2,273	135	17
28	2,653	1,753	337	564	200	96	16	252	28	2,653	37	175	2,271	152	17
29	2,673	1,737	323	614	198	92	15	309	29	2,673	31	178	2,303	144	17
30	2,656	1,772	328	557	207	86	15	250	30	2,656	27	168	2,295	150	17
令和元	2,462	1,666	301	495	184	71	13	227	令和元	2,462	27	164	2,108	148	16
2	2,382	1,625	265	493	183	65	14	230	2	2,382	22	156	2,048	141	15
3	2,402	1,612	269	521	197	72	15	237	3	2,402	23	167	2,052	145	16
4	2,455	1,664	258	533	201	72	15	252	4	2,456	16	167	2,116	142	14
5 (見込み)	2,410	1,653	234	523	190	72	14	247	5 (見込み)	2,411	11	153	2,083	150	14

資料：農林水産省「でん粉の需給見通しについて」

注1：その他の欄のその他は、片栗粉、菓子、麺類、調味料、建材、医薬、飼料などの需要量の計である。

注2：供給数量は、かんしょでん粉およびばれいしょでん粉について、前年度繰り越し分を加え、次年度繰り越し分を減じている。

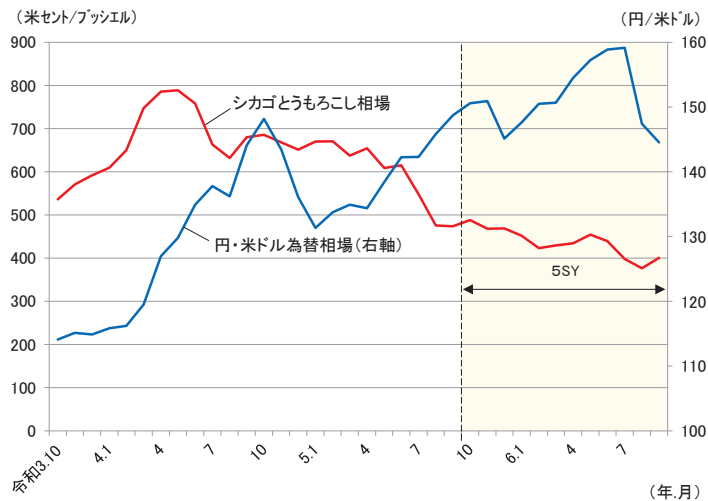
注3：ラウンドの関係で合計と内訳が一致しない場合がある。

(3) 国際相場などの動き

5SYのシカゴとうもろこし先物相場（期近）は、月平均では年間を通しておおむね下落傾向で推移した。5SY開始直後からブラジルの降雨予報による作柄の改善見込みや米国産への需要の低迷により徐々に値を下げ、令和5年12月の平均価格は1ブツ

シエル当たり460米セント台で終わった。令和6年に入り6月下旬には、米国中西部における降雨予報および米国の作付面積予測が大きく上回ったことなどを受け390米セント台まで値を下げ、その後もおおむね300米セント台後半で推移し、9月の平均価格は400米セント台で終わった（図2）。

図2 直近3でん粉年度の米国産とうもろこしのシカゴ先物相場（期近）と為替相場の推移



(4) 指定でん粉およびコーンスターチ用
輸入とうもろこしの平均輸入価格等

5SYにおける指定でん粉等の平均輸入価格等は、
表5の通り。

表5 指定でん粉等の平均輸入価格等

SY	平均輸入価格 (円/トン)	でん粉 (円/トン)			とうもろこし (円/トン)			とうもろこしシカゴ相場		為替 (円/米ドル)	
		買入価格	売戻価格	調整金単価	買入価格	売戻価格	調整金単価	(米ドル/ ブッシェル)	(米ドル/トン)		
令和3	3年 10月~12月	80,320	80,320	84,159	3,839	50,494	53,105	2,611	5.71	224.76	111.08
	4年 1月~3月	85,190	85,190	88,811	3,621	53,899	56,361	2,462	5.61	220.80	114.41
	4年 4月~6月	92,630	92,630	95,917	3,287	59,152	61,387	2,235	6.58	259.02	116.55
	4年 7月~9月	106,930	106,930	109,576	2,646	69,538	71,338	1,800	7.77	305.90	129.34
4	4年 10月~12月	106,480	106,480	110,094	3,614	67,450	69,908	2,458	6.64	261.23	138.50
	5年 1月~3月	107,960	107,960	111,497	3,537	68,956	71,361	2,405	6.68	262.88	143.59
	5年 4月~6月	101,540	101,540	105,412	3,872	64,516	67,149	2,633	6.61	260.29	133.69
	5年 7月~9月	96,720	96,720	100,844	4,124	61,013	63,817	2,804	6.29	247.69	137.09
5	5年 10月~12月	93,630	93,630	97,663	4,033	56,802	59,544	2,742	5.08	199.96	145.09
	6年 1月~3月	94,180	94,180	98,187	4,007	56,966	59,691	2,725	4.76	187.40	149.45
	6年 4月~6月	92,300	92,300	96,395	4,095	55,920	58,705	2,785	4.38	172.38	148.81
	6年 7月~9月	95,760	95,760	99,692	3,932	57,907	60,581	2,674	4.45	175.01	156.14

(5) 売買実績

5SYの売買数量は、輸入でん粉は前年度比1.5%増の13万4000トンと増加した一方で、でん粉供給量の大半を占めるコーンスターチ用輸入とうもろこしについては、酒税法改正に伴う発泡酒の需要減少や製紙向けの需要減少により、同2.4%減の303万5000トンと前年度をわずかに下回った。

売買差額は、調整金単価が令和6年7-9月期を除き前年より高かったことを受け、輸入でん粉が同7.0%増の5億3700万円、コーンスターチ用輸入とうもろこしが同3.0%増の82億8300万円、合計で同3.2%増の88億2000万円と前年度をやや上回った(表6)。

表6 指定でん粉等の売買実績

SY	輸入でん粉		コーンスターチ用 輸入とうもろこし		売買差額 合計 (百万円)
	売買数量 (千トン)	売買差額 (百万円)	売買数量 (千トン)	売買差額 (百万円)	
令和3	135	445	3,003	6,749	7,194
4	132	502	3,110	8,044	8,545
5	134	537	3,035	8,283	8,820

3 交付金交付業務など

(1) でん粉原料用いもおよび国内産いも
でん粉の生産動向

ア でん粉原料用ばれいしょ・ばれいしょ
でん粉

北海道のばれいしょ生産は、近年170万~190万トン程度で推移しており、そのうち約4割がでん粉原料用に仕向けられている。

5SYについて、需給見通しによると、単収増により収穫量は増加したものの、酷暑によりでん粉含有率の低下が生じたため、ばれいしょでん粉の生産量は、前年度比2.6%減の14万8000トンとなる見込みである(表7)。

イ でん粉原料用かんしょ・かんしょでん粉

南九州のかんしょ生産は、生産者の高齢化による離農を主たる要因として、作付面積は減少傾向にある。

5SYについて、需給見通しによると、サツマイ
モ基腐病もとぐまればいよう(立枯症状や塊根部が腐敗する症状)の

発生面積は減少したものの、他用途向けとの原料の競合により仕向け量が減少したことから、かんしょでん粉の生産量は前年度比26.7%減の1万1000トンと、過去最低となる見込みである（表8）。

表7 ばれいしょの生産状況等（北海道）

SY	作付面積 (千ha)	単収 (kg/10a)	収穫量 (千トン)	うちでん粉 原料用 (千トン)	でん粉 生産量 (千トン)
令和3	47.1	3,580	1,686	701	148
4	48.5	3,750	1,819	714	152
5 (見込み)	48.5	3,980	1,930	739	148

資料：農林水産省「でん粉の需給見通しについて」

表8 かんしょの生産状況等（南九州）

SY	作付面積 (千ha)	単収 (kg/10a)	収穫量 (千トン)	うちでん粉 原料用 (千トン)	でん粉 生産量 (千トン)
令和3	13.3	1,964	262	70	21
4	13.1	2,201	288	51	15
5 (見込み)	12.8	2,221	284	37	11

資料：農林水産省「でん粉の需給見通しについて」

注：「南九州」の範囲は、鹿児島県および宮崎県。

(2) 交付金の交付状況など

ア でん粉原料用いも交付金（でん粉原料用かんしょのみ）

収穫期はおおむね9月から12月であり、いもでん粉製造事業者への売渡しに応じて交付金を交付している。

5SYについては、交付金単価（免税事業者）は1トン当たり1310円引き上げられたものの、他用途向けとの原料の競合によりかんしょでん粉への仕向け量が減少したため、交付決定数量は前年度比27.5%減の3万7000トン、交付決定金額は同23.9%減の11億1600万円となった（表9）。

表9 でん粉原料用いも（かんしょ）
交付金交付決定実績

SY	交付決定数量 (千トン)	交付決定金額 (百万円)
令和3	70	1,932
4	51	1,467
5 (見込み)	37	1,116

イ 国内産いもでん粉交付金

ばれいしょでん粉およびかんしょでん粉の販売は年間を通じて行われ、これに応じて交付金を交付している（表10）。

(ア) ばれいしょでん粉の交付状況

5SYの交付実績は、交付決定数量は前年度比7.2%減の9万トンとかなりの程度減少、交付決定金額は同9.0%減の16億7000万円とかなりの程度減少した。

(イ) かんしょでん粉の交付状況

5SYの交付実績は、他用途向けとの原料の競合によりでん粉への仕向け量が減少したことを受け、交付決定数量は前年度比37.5%減の1万トンと大幅に減少、交付決定金額も同35.8%減の3億9300万円と大幅に減少した。

表10 国内産いもでん粉交付金交付決定実績

SY	ばれいしょでん粉		かんしょでん粉	
	交付決定数量 (千トン)	交付決定金額 (百万円)	交付決定数量 (千トン)	交付決定金額 (百万円)
令和3	102	1,887	23	913
4	97	1,835	16	612
5 (見込み)	90	1,670	10	393

(3) 国庫納付金納付業務（でん粉原料用ばれいしょ）

でん粉原料用ばれいしょ生産者への農業の担い手に対する経営安定のための交付金の交付に要する経費の財源に充てるため、5SYにおいては、農林水産大臣からの通知に従い、調整金収入から57億4500万円を国庫に納付する予定である（表11）。

なお、調整金単価の上昇により指定でん粉等の調整金収入が増加したことおよびかんしょの減産によりばれいしょの比率が増加したことに伴う納付率の上昇から、納付金額は前年度を上回る見込みである。

表11 国庫納付金納付実績の推移

SY	国庫納付金額 (百万円)
令和3	4,130
4	5,214
5 (見込み)	5,745

